



地域手当の交渉は難航

文書確認に向け全力

昨年十一月四日に当局から要請のあつた、地域手当の支給率削減をはじめとする「給与のさらなる適正化について」は、市労連として組合員の署名と意見を集約して提出するとともに、毎週の朝ビラ等を通じて、当局要請の問題点を明らかにした。

また、市議会の各会派にも、組合員が置かれた現下の厳しい職場・生活実態を説明し、支援を要請する行動もを行い、並行して当局との折衝・協議に臨んできた。しかし現時点においても、

当局の「地域手当の支給率を現行水準で維持することは、到底、市民理解を得る

ことはできない。国において、市町村合併時に採用されている市内の各施設に勤務する職員数按分という考え方のもとに、地域手当の支給率は引き下げたい」との姿勢・考え方はいつさい変わっていない。

市労連で、現時点での状況分析を行い、今後の対応を協議した結果、現下の社会・経済情勢の中でも、また職員の不祥事が明らかとなり市民の信頼回復に向け全市を挙げて取り組む中で、この問題で当局の譲歩を引き出すことは極めて困難であると判断した。

苦渋の決断ではあるが、

現時点において地域手当の

現行支給率の維持は難しい

**さよなら原発
2・4兵庫県集会**

日時 2月4日(土)
午後1時30分開会

場所 明石市民会館
大ホール

弁士 鎌田 慧
(ノンフィクション作家)
武藤 類子
(福島からの訴え)

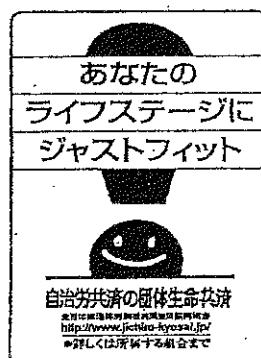
参加費 1,000円

①地域手当支給率の削減幅を、可能な限り圧縮することと、②見直し後の地域手当支給率については、市民への説明責任を果たせるものとすることを踏まえ、国の官署指定が存続する間は維持すること、③年収ベースの低い再任用・任期付職員には、地域手当支給率見直しの影響が及ばないよう何らかの配慮を行うこと、④賃金確定闘争の継続課題である現給保障制度の取り扱い、特殊勤務手当の見直し、ラスバイレス指数適正化のための初任給基準の引き下げ、昇格にかかる年限の見直し等、給与制度の変更は、地域手当支給率の見直しを踏まえ、慎重に取り扱うとともに丁寧な協議を行うこと、⑤現在検討されている国家公務員の給与カットが実施され、この影響が地方公共団体に及ぶ事態により、

3月議会の日程等から勘案し、健福・予算要求闘争で配置している、二十五日の一時間ストライキを背景に労使協議を進め、最終決着を図ることとする。

2012年1月12日 第327号

第327号
2012年1月12日
発行 明石市労働組合連合会



明石市職員互助会「すくらむ」のご案内

「すくらむ」の加入手続きができるのは、年に1回この時期だけです。ぜひ、未加入の職員の方は新規加入をお願いします。

【推進期間】

1月16日(月)～1月27日(金)

お問い合わせは、明石市労働組合連合会 事務局まで

☎: 078-918-5083 (内線) 2142